職長・安全責任者教育カリキュラム講習会

ゼロ災目指し実務教育

災害事例の徹底討論も

目指せ"ゼロ災"－厚生労働省の新たな行政通達による職長・安全衛生責任者教育カリキュラム（14時間）講習会が7月31日、1日の両日、鹿屋市の肝属建設会館で建災防肝属分会を皮切りに始まった。即実践に移せる実務教育とあって35人の受講職長が、統括安全衛生管理の進め方、安全施工サイクル、ヒューマンエラー防止対策、現地KYの取り組みなど熱心に学んだ。

同行政通達は、省庁再編後初めての教育で、安全衛生責任者の役割（労働安全衛生法）、事業者は新たに職務のつくことになった職長等作業員を直接指揮、監督する者に対して一定の教育（職長教育）を義務づけており、今後の事故未然防止に向けた、即実践に移せる実務教育として大きな期待が寄せられている。

講師は建災防本部（東京）で行われた職長・安全衛生責任者教育講師研修を修了した建災防協会会長委嘱の関秀正氏（五洋建設㈱南九州支店安全環境部長）。

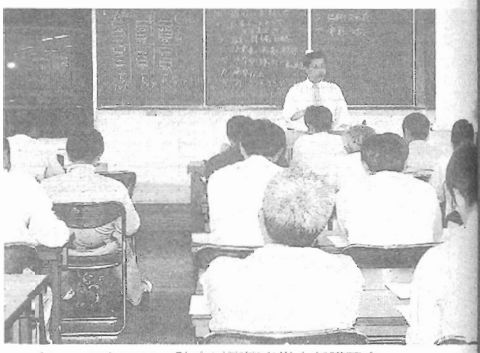
同氏は、初日に職長・安全衛生責任者の役割、統括安全衛生管理の進め方（施工要領書の作り方）、安全施工サイクル（職場体操、朝礼、安全ミーティング、点検、安全パトロールの措置等）。2日目は、作業員の適正配置、作業員に対する指導及び災害発生時における措置、ヒューマンエラー防止対策、現地危険予知活動（安全施工サイクルと現地KY）等について、いずれも視聴覚教材（OHPとビデオ）を使って講演。

このうち、異常時・災害発生時における措置では、災害事例研究として、20項目に及ぶ災害事例を提示し、6人で1グループを編成して熱心な研究討論を行い、りまとめた。

なお、建災防県支部では、即実践に移せる、この実務教育を、年内にも曽於分会など6分会で実施することにしている。

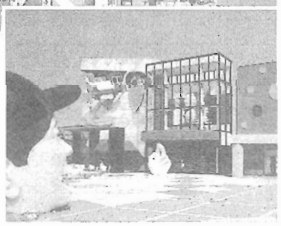
主な災害事例研究項目は次の通り。

下水処理場の開口部から墜落し頭部打撲▽鉄筋工が柱筋の結束作業中に墜落し下腿（かたい）骨折▽切梁（きりばり）上から墜落し、でつった鉄板が落下し、全身打撲▽荷取り作業中、つり荷が落下し、頭部打撲▽玉掛けワイヤロープが切れて鉄筋が落下、作業員にあたる▽ドラグショベルの後部とH鋼にはさまれる▽ブルドーザーが路肩から転落し下敷きになる▽管理設工事の溝掘削中、土砂崩壊により埋没▽浴室の塗装作業中、有機溶剤中毒により意識を失う－など。



ヒューマンエラー防止対策等を学んだ講習会
＝鹿屋市の肝属建設会館で

日本に例を見ない色と形



アートボックス

米国人デザイナーがイメージ

観光地区として発展を期待されている与次郎地区に室内遊園地として建設された施設として「ジャングルパークTOY BOX」が完成したのが4、5年前。同施設は、内外装ともに日本に例を見ない色と形を表現し、子供の好きなおもちゃ箱をひっくり返した状態を表したアミューズメントパーク。

アメリカ視察を経て、基本コンセプトについては、視察の結果を採り入れ、必然的にアメリカ人のデザイナーによってイメージされた。特に子供やお年寄りを含め、老若男女がバーチャルな空間に迷い込むことで、楽しく遊べる空間として、ダウンタウンのゲームセンターと多少違うことからも理解できる。

構造的には10㍍の長スパンを採用し、今後の長期的な利用にも対応できるように計画されている。また、仕上げは基本的に壁、天井ともに塗装が多く、メンテナンスの対応が簡単にできるなどの工夫もなされている。

▽施工名＝ジャングルパークTOY BOX
▽内外装設計監理＝㈱カゴシマ船場
▽施工業者＝㈱カゴシマ船場
▽建物規模＝3200㎡

こどもまちづくり探検隊

薩摩田上トンネル見学

80小中学生人 将来のまちづくりに一役

鹿児島市は2日、こどもまちづくり塾の一環として「こどもまちづくり探検隊」を実施し、同市内の小・中学生約80人が参加して、西鹿児島駅新幹線到着ホーム建設現場や薩摩田上トンネル、武武岡線常盤トンネルなどを見学した。

同探検隊は、将来のまちづくりを担う子供たちを対象に地域への関心や愛着を持ってもらうと同時に、夏休みの思い出づくりにも役立てようと今回初めて実施したもの。

鹿児島市役所前のみなと大通り公園に集合した子供たちは、受け付け時に隊員の任命証とロゴマーク入りの帽子が授与され、バスに乗車。石橋公園を経由して西鹿児島駅に到着すると、今度はヘルメットにかぶり直して駅構内へ。係の案内で新幹線到着ホーム建設現場に立ち入ると一様に歓声があがり、写真を撮る子やパネルを使った説明に食い入るようにメモを取る子もいた。

また、武武岡線常盤トンネルの現場では、独特の工法（上半CD工法）で施工している様子の説明を受けたほか、隣接地で施工している九州新幹線鹿児島ルート薩摩田上トンネルではバスで坑口から約500㍍先へ入って、坑内の様子を見学。蒸し暑い中にもかかわらず、掘削機械や防水シートなど気になったことを係員に訪ねたり、記念写真を撮ったりしていた。

続いて一行は、臨海工業団地（2号用地）の見学や優厚一副支部長の会社名が㈱春園組とあるのは㈱植村組の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

トンネル坑内を見学する一行
＝鹿児島市で

【訂 正】8月1日号4面の県建設業協会川内支部の親睦ボウリング大会で今

日本初の自然素材100%

塗布・接着剤「ハウスマスターシリーズ」

アイ・ビー建販から発売

アイ・ビー建販㈱（堀田紘一社長、本社・鹿児島市）はこのほど、㈱ナパス（本社・岩手県）と代理店契約を結び、鹿児島・宮崎・熊本でのエリアリーダーとして活動を始めた。

「ハウスマスターシリーズ」＝写真＝は大自然の恵みから生まれた、国産初の自然素材100%の塗布剤及び接着剤。すでに北関東の4生協で採用されるなど、高い評価を得ている。

精製木酢液、柿渋液、ヒバ油、ニカワ、もち米粉、天然100%の植物抽出成分を主体に、独自の製法で仕上げた安全性が非常に高い製品で、しかも塗布は容易。乾燥も早く、伸びも良いなど、使いやすさも抜群。

塗布剤は「ウッドマスター」、「フロアマスター」、「ワックスマスター」、「デッキマスター」の4種類。

針葉樹系・広葉樹系の無垢材用で、床、腰板、床、建具など、それぞれの用途に合わせて使用するが、木肌の色調を生かした美しい仕上りとなる。

「スクラムマスター」は接着剤で、ソフト、セミハード、ハード、スーパーハードの4種類。紙（器）や布、皮、飾り建具、壁紙などから、床板、階段、室内建築用建材、家具材の接着など、強度が必要なものまで完璧にカバーする。

問い合わせは、アイ・ビー建販㈱（鹿児島市東開町8－3☎099・268・7095 FAX099・268・7448）まで。

県庁展望所から鴨池ニュータウンの街並みを眺め、黎明館や県立図書館前の歴史と文化の道を通って全ての行程を終了した。

真山民夫同市都市計画部長は「定員を超える応募がありうれしい限り。参加した子供たちの中からこれからの鹿児島市のまちづくりについて意見やアイデアがたくさん出ることを期待している」と語った。

購読料のお支払いはお手軽で便利な
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ